



ごみ収集車の車両火災が多発しています

「1つくらいなら……」という気持ちが大きな事故につながります。


ごみ収集車の車両火災が後を絶ちません。
「スプレー缶・ガスボンベ缶」、「使い捨てライター」、「石油ストーブ」などが正しい方法で出されなかったことが原因と考えられます。

○車両火災が発生すると

- ・集積所は住宅地にあり、周辺に延焼の恐れもあります。
- ・収集作業員の人命にもかかわります。
- ・ごみの収集時間も大幅に遅れます。



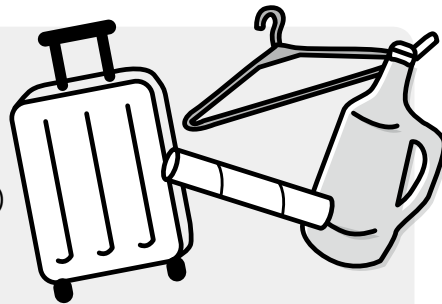
▶ルールを守り正しく排出してください◀

- ◆スプレー缶・カセットボンベ缶
使いきってから火の気のない屋外で穴をあけ「缶」の日に出してください。

- ◆使い捨てライター
ガスを使い切り、「不燃ごみ」の日に出してください。
- ◆石油ストーブ
灯油タンクの中だけでなく、本体内の灯油タンクの受け皿からも灯油を抜いて、「不燃ごみ」の日に出してください。乾電池が入っている場合は、乾電池を抜いてください。
- ◆灰
火の気が完全に消えていることを確認し、「灰」と明記した丈夫な袋に入れ、「ビン」の日に出してください。

ごみ(資源物)の分け方 Q & A

Question!

- Q1 ブルーシート(家庭用)
- Q2 プラスチック製のハンガー
- Q3 使い捨てカイロ
- Q4 アルミはく(きれいなもの)
- Q5 ストロー
- Q6 食用油のボトル
- Q7 キャリーバッグ(1m×50cm×50cmの大きさ以内)
- Q8 食品ラップの紙の芯
- Q9 錠剤の包装シート(アルミとプラの複合素材)
- Q10 ビデオテープ



ごみの分別については、ごみ減量とリサイクルのため、長野市では、家庭から出るごみを①可燃ごみ②不燃ごみ③プラスチック製容器包装(資源)④紙(資源)⑤ビン(資源)⑥缶(資源)⑦ペットボトル(資源)⑧剪定枝葉等(資源・一部地区を除く)の8種別に分けて出してもらっています。

次に、問い合わせの多いごみとその出し方をクイズ形式にまとめましたので参考にしてください。

あくまでも一般的に使用されている大きさ・材質のもの、家庭で使用されるものをイメージしてください。

Answer

【Q1】可燃ごみ(農業など事業用のもは不可) 【Q2】不燃ごみ 【Q3】可燃ごみ 【Q4】不燃ごみ(軽くまるめて出す。汚れたものは可燃ごみ) 【Q5】可燃ごみ 【Q6】可燃ごみ(油を落とすのが難しいため) 【Q7】不燃ごみ(粗大ごみシールを貼って出す) 【Q8】紙(資源) 【Q9】プラスチック製容器包装(プラマークで確認) 【Q10】可燃ごみ(不燃ごみの資源化施設においてテープが機械からむため)

※平成27年2月現在の長野市のごみの分別ルールによるものです。今後、変更の可能性もあります。

★白熱電球、LED照明、割れてしまった蛍光灯は「不燃ごみ」の日に出してください★